



養護と教育が一体となった保育とは

～保育園は、子どもの命を育み、学ぶ意欲を育てます～



養護とは

子どもが心身ともに心地よいと感じる環境を整え、子ども自身が主体的に育つことをたすける営み



教育とは

「感じる・探る・気づく」といった子どもの興味・関心を引き出すこと



3歳2か月のAちゃんが、砂場で砂遊びをしています。

保育者の真似をして砂をスコップですくい、何度も手のひらに乗せ固めようとしていました。最初はうまく固まらず、地面に置いたらすぐに壊れてしまう団子でしたが、何度も作るうちに固く丸い団子が作れるようになり、いつしか友達と一緒に団子作りを楽しめるようになりました。

この遊びの中での「子どもの育ちや学び」「保育者の援助」とは何でしょうか？



子どもの育ちや学び



保育者の援助(養護と教育)

壊れちゃって悲しかったね。
もう1回作ってみよう！
(共感と励まし)

もう少しギュッと
にぎってみよう！
(手先の力加減)

たのしい！もう1かいやってみよう！
(繰り返しやってみようとする意欲)

援助が先回りしすぎないように配慮

砂が目に入らないように安全に配慮

うまくできない・・・「せんせい、やって！」
(言葉による伝え合い)

すなにおみずをまぜたら
こわれなくなるんだ・・・
(砂の性質に気づく)

こんどはともだちといっしょにやりたい！
(人との楽しい時間の共有)

子どものそばで見守り、
応答する



プリンもつくってみよう！
(新たなことをしようとする)



子どもの何気ない行動一つ一つに、それぞれの子どもの育ちや発達を意識し、目標を持ってかかわっています。

子どもの気持ちに寄り添い、行動や表情に表面化されない「気持ち」や「心の動き」を読みとることで、よりよい育ちや学びにつなげるよう働きかけています。